

薬物乱用防止・不審者対応教室

2017. 12. 12 (南紀新報より)

南 紀 新 報

2017年(平成29年) 12月15日 金曜日

護身術はテコの原理

五郷中学校 薬物の恐ろしさも学び

熊野市五郷中学校(高田有治校長)で十二日、薬物乱用防止教室及び不審者対応教室が行われ、小中学生が熱心に取り組んだ。

薬物乱用の危害に対する正しい知識を身に付けるとともに、不審者から自分の生命を守る意識を高めるのがねらい。生徒六人と五郷小学校の五、六年生四人、教職員らが参加した。

熊野警察署生活安全刑事課の尾崎規文係長ら署員が講師を担当。薬物乱用防止教室では、児童生徒らが薬物乱用が体や心に及ぼす恐ろしさを改めて知り、誘惑への対処法を身につけた。

不審者対応教室では、署員が「さすまた」の使い方について「さすまたは犯人を



不審者から身を守る方法を実践

捕まえる道具ではなく、身を守るもの」と教えた。尾崎係長は不審者

に腕を掴まれた時や、後ろから抱きつかれた場合の護身術を実技指導。子ども

たちは、腕力のある相手でもテコの原理や体のバランスを活かして逃げるコツを

学び、防犯意識を高めた。

薬物の危害に対する正しい知識を知り、薬物への誘惑に負けない判断力をつけるため、薬物乱用防止教室を実施しました。また不審者に出会った時の対応を理解し、自分達の生命を守る意識を高めるために不審者対応についての学習も行いました。

小学生も参加しました…

薬物の恐ろしさを学習し、薬物に関する様々な誘惑に対して、まけない勇気を持つことが大切だと思います。

「さすまた」の使い方も教えていただきました…